

1 全体計画

学校の教育目標

豊かな心と広い視野をもち、国際社会をたくましく生きる児童を育てる。

- ・かしこく自分から進んで考える子
- ・やさしく相手の気持ちを思いやる子
- ・たくましく互いに高めあう子



平成30年度学校経営方針

児童一人ひとりを大切にし、一人ひとりが認められ生かされる機会を保障して活躍できることを目指し、明るく元気な学校づくりを推進する。



本校の捉える「確かな学力」

学習に興味・関心をもち、進んで取り組もうとする「意欲・態度」、基礎的・基本的な「知識・技能」、自ら課題を見つけ解決しようとする「思考力・判断力・表現力」



平成30年度の指導の重点

<各教科>言語活動の充実を図るとともに、主体的・対話的で深い学びを充実させるための授業改善を行い、思考力・判断力・表現力を培う。そして、習熟度別少人数指導や補充学習、特別支援教育の視点に基づいた指導を行うとともに、個に応じたきめ細かい指導と評価の方法を工夫し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。また、家庭と連携し、音読や宿題等、家庭学習の習慣化を図るとともに、調べたりまとめたりする課題を通して自ら学び、自ら考える力を育成する。

<道徳>道徳の全体計画に基づき、あらゆる教育活動を通して他との関わりを重視し、道徳性を養う。道徳科の時間においては、話し合い活動を重視し、自己を深く見つめ、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲及び態度の育成を図る。

<特別活動>特別活動の全体計画に基づき、望ましい集団活動を通して、集団としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。

<総合的な学習の時間>地域の自然や人とのふれあいを通して、豊かな心情をはぐくみ、自己の生き方を考えさせる。探究的な学習で、自ら課題を見つけ、考え、判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。

<生活指導>「元気な挨拶」「話をしっかりと聞く」「優しく正しい言葉遣い」を年間通して指導し、基本的な生活習慣や自立的な生活態度を身に付けさせるとともに、家庭・地域と連携を深め、その確立に努める。思いやる心や自他を大切にし、人権や生命を尊重する心を育てる。

<進路指導>キャリア教育年間指導計画に基に、生涯学習の視点に立って自己理解を深め、勤労体験や小中連携等を通して、望ましい勤労観・職業観を養い、将来の夢や希望をもち、よりよい生き方を追究していくことのできる児童を育成する。



授業改善の視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	評価の工夫	校内研究・研修の工夫	家庭・地域との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>○言語活動の充実を図るとともに主体的・対話的で深い学びを充実させる。</li> <li>○課題解決型の学習課題を工夫して、指導方法の改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○少人数など、個に応じた指導で学力を伸ばす。</li> <li>○放課後や補充学習、東京ベーシックドリルにより、基礎的・基本的な内容の習得と定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力調査結果を生かし、学習方法や指導法の改善を図るPDC Aサイクルを機能させる。</li> <li>○週ごとの指導計画を効果的に活用して、系統的な評価・指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中連携の研究を通して、学習や生活指導面での9年間を見据えた連携を充実させる。</li> <li>○校内での授業を積極的に公開し協議することで、授業力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談を実施し、個人の課題を明確にし、家庭教育との連携を図る。</li> <li>・授業参観等を通して、家庭・地域に学校の教育活動に対する理解と協力を得る。</li> </ul>